

アンケートの結果について

7 月に行いました保護者アンケートでは、たくさんの方にご回答していただくとともに、貴重なご意見をいただきありがとうございました。子どもたち及び教職員も同様にアンケートを実施しましたので、本校の課題となる点や向上した点についてご報告いたします。

1 保護者アンケート 分析結果

重要度・実現度 最高 7.0

ニーズ度が 25 以上または 25 に近い項目が課題となる点です

質 問 文	重要度	実現度	保護者 ニーズ度	教職員評価 ニーズ度
学校が楽しいこと	6.7	5.3	18.1	21.4
正しい姿勢で学習すること	6.5	4	26	26.9
授業中いっしょうけんめい勉強をすること	6.6	4.6	22.4	27.6
授業の内容を理解すること	6.7	4.4	24.1	26.1
毎日、(15 分×学年)以上家庭学習をすること 例) 2 年生 15 分×2=30 分 3 年生 15 分×3=45 分	6	3.7	25.8	32.3
読書をする事	6.3	3.6	27.7	25.7
先生の話や友だちの意見をしっかり聞くこと	6	4	24	26.2
相手の気持ちを考えて行動すること	6.4	3.9	26.2	27.6
挨拶をすること(家・地域・学校)	6.3	3.3	29.6	32.8
正しい言葉づかいができること[先生や地域の方と話すとき]	6.1	3.1	29.9	29.9
他の学年の児童といっしょに活動すること(たてわり活動)	6	4.8	19.2	20.5
進んで体を動かしたり、運動したりすること	6.4	4.9	19.8	20.8
早寝・早起きをする事	5.6	2.3	31.9	32.6
時間を決めて、テレビやゲーム・携帯などをする事	5.6	2.2	32.5	41.5
約束やきまりを守り、安全に気をつけて遊ぶこと	5.5	2.1	32.5	41.6
学校の様子が分かること(おたより・ホームページ)	4.8	3	24	29.1

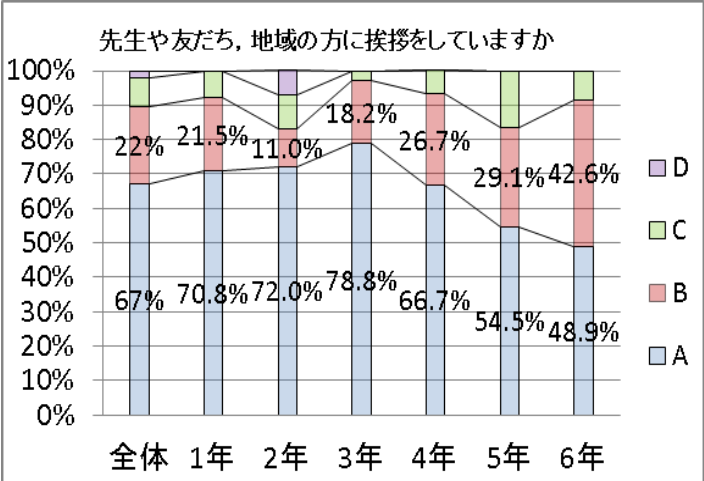
アンケート結果から

実現度が 7.0 に近いほど重要であり実現できているといえます

1. 『挨拶をすること』

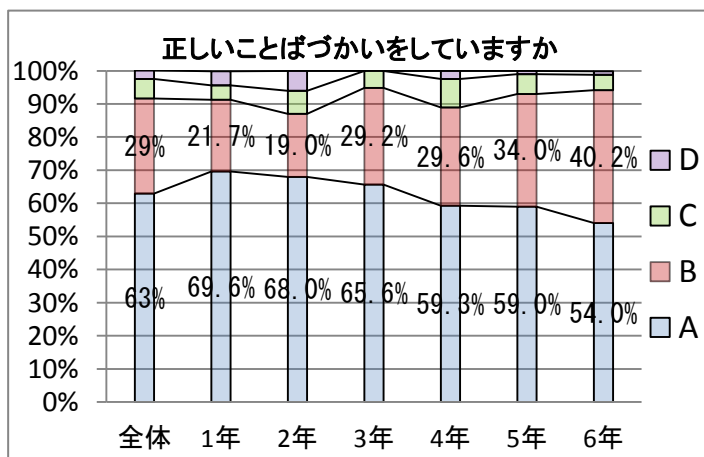
児童アンケートの結果を見ると、AB 評価の合計が 90% 近くあり、ほとんどの子どもができているという結果が出ています。しかし、保護者・教職員の結果を見ると実現度は低く、課題となるニーズ度も高くなっています。子どもたちの意識として、担任の先生には挨拶をしているからできていると捉えているのかもしれません。ただ、挨拶のねらいは誰に対しても気持ちのいい挨拶ができることです。友だちに対しても「仲のいい友だちにはできている」だけでは困ります。10 月の学校便りにも少し書きましたが、小中連携の取組として、月曜日は中学生も一緒にハイタッチを取り入れた挨拶運動を昨年度から行っており、子どもたちにとっても見慣れた光景となっています。声は出せなくてもハイタッチで挨拶をしている子どももいることを含めて、今後も続けていきたいと思っています。他に、相手に何かをしてもらう時の「お願いします」や「ありがとうございます」などの言葉も、挨拶と同じようにもう少しできればなと感じることがあります。気が付いたときは、できるだけ、その時、その場で子どもたちに伝えるようにはしていますが、子どもたち自分自身も挨拶について自分の行動を振り返る機会をもてるようにしていきたいと思っています。

児童アンケートより 【7 月】



2. 『正しいことばづかい』

児童アンケートの結果は、AB 評価の合計が 92%とたいへん高くなっています。グラフを見ていただいてもわかりますように、多少の前後はありますがほぼ全学年の子どもたちが言葉づかいはできていると捉えているようです。しかし、保護者・教職員のアンケートでは、実現度は低く、課題であると感じています。正しい言葉づかいというのは、「場に応じた言葉づかい」であることは言うまでもありません。それをまず身につけるのは学校であり、授業場面であると思います。保護者の自由記述欄に「まずは先生がきちんとした言葉づかいをしてほしい」というご意見が時々書かれています。この点につきましては日ごろから教職員間で確認をしていますが、十分にできていないこともあるかもしれません。授業時間以外の自由な雰囲気のもとで、多少の気楽な会話は、許されるのかもしれませんが、授業をはじめ必要な場面ではきちんとした言葉づかいでけじめをつけていきたいと思っています。何か気にかかる点がございましたら学校までお伝えください。

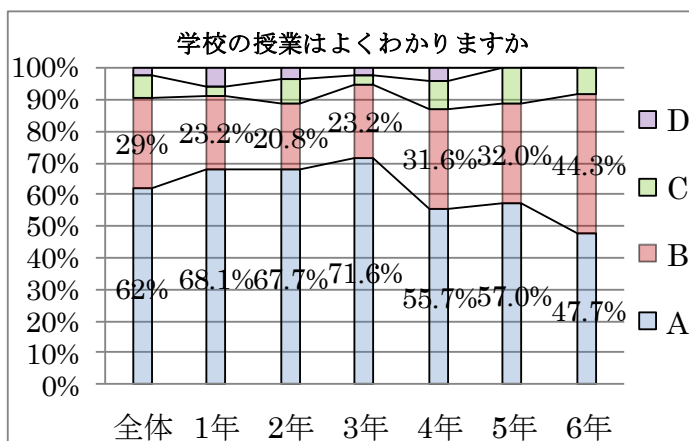


教職員評価	重要度	実現度	ニーズ度
正しい言葉づかいができること	6.8	3.6	29.9

実現度が 7.0 に近いほど重要であり実現できているといえます

3. 『学校の授業はよくわかりますか』

前回(2月)の結果と比べると、全体では 91%とほぼ同じですが、A 評価が 10%増えています。また、AB 評価については各学年とも 90%近くの結果となっています。ただ、教職員評価ではニーズ度が 26.1 とやや高く課題として捉えています。全国学力学習状況調査(4月)の結果を見てみると、国語 A では京都市を平均点で上回っていましたが、算数の計算領域をはじめ基礎的・基本的な問題でつまづきが見られます。日々の授業では理解できていても、時間の経過とともに忘れてしまっているということが原因の一つとして考えられます。



A…よくできている B…だいたいできている
C…あまりできていない D…できていない

教職員評価	重要度	実現度	ニーズ度
授業の内容を理解すること	6.7	4.1	26.1
家庭学習をすること	6.6	3.1	32.3

ニーズ度が 25 以上または 25 に近い項目は課題となる点です

特に、算数や国語は積み重ねが必要となる教科です。学習したことを定着させるためには、やはり日々の復習、すなわち家庭学習が必要です。『家で決まった時間(15分×学年)勉強をしていますか』という質問に対しては、

AB 評価は 67%と前回とあまり変わっていません。4 月に行いました6年生の

『全国学力学習状況調査』で家庭での学習時間を見てみると、日野小の6年生は、

平日、土日とも全国・京都府の平均より少ないという結果になっています。特に土日の家庭での学習時間は大きく開きがありました。「宿題に時間がかかり困っている」「もっと宿題を少なくしてほしい」等の声もありますが、学習したことをきちんと理解し定着させるためには、やはり、(15分×学年)程度の学習時間は必要だと思います。しかし、ただ時間だけにこだわるのではなく一人一人の子どもに応じた家庭学習を考えていくことも当然必要です。家庭学習で困っておられる場合はどうぞ担任にご相談ください。

自由記述欄より(※学校全体に関わる内容を掲載します)

- ・挨拶、言葉遣いは重要。大人がまずきちんとと言えることが大切だと思います。
- ・メール配信がもう少し有効に活用されるとありがたいです。
- ・水泳の授業、夏休みのプールの回数が少ないような気がします。夏・冬休みの宿題の〇つけを保護者がするのはどうしてですか。
- ・文章力を上げる作文指導を希望します。
- ・宿題が多すぎると思います。もう少し友だちと遊ぶ時間も必要だと思います。
- ・先生が子どもたちの話を聞くことも重要だと思います。
- ・下校の時刻をもう少し正確にしてほしいです。

感想・ご意見の欄では、他にもよかった点や改善すべき点について貴重なご意見をたくさんいただきました。課題として挙がってきたことについては、共通理解を図り、改善に向け取組を進めてまいります。今後ともますますのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。